

# かがやき



大久保小学校 学校だよりNo.26  
令和6年1月30日  
発行者 黒田 優一



## 「いただきます」「ごちそうさま」に心をこめて

1月24日から30日までの一週間は全国学校給食週間でした。日本の学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、アメリカ合衆国の団体から給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。給食用物資の贈呈式は昭和21年12月24日に行われましたが、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間は「学校給食週間」とされています。

本校では、1月29日（金）の朝の時間に給食集会を行いました。いつもおいしくいただいている給食が、多くの人々の働きによって成り立っていることを知り、感謝の気持ちをもつとともに、給食を正しく理解し、望ましい生活習慣を育むことが目的です。

子どもたちは給食委員会が作成したスライドを見ながら、給食の歴史やマナー、調理士さんの仕事などを学び、給食への感謝の気持ちを高めることができました。また、子どもたち一人一人が、調理員さんへ感謝の気持ちを寄せ書きカレンダーに表すことができました。少し紹介します。

- わたしのすきなきゅうしょくは、ほかほかごはんです。いつもありがとうございます。
- いつもほっぺがおちるほど、きゅうしょくがおいしいです。
- ぼくは、ししゃもフライとちゅうかスープがすきです。いつもおいしくたのしくたべられるのは、ちょうりいさんのおかげです。
- いつもおいしい給食をつくってくださって、ありがとうございます。朝早くから、全学年の給食をつくっているから、すごいなあと思いました。いつもありがとうございます。
- いつもおいしい給食を作ってくれて、ありがとうございます。私はカレーうどんが大好きです。これからもよろしくおねがいします。
- いつもおいしい給食をつくってくれて、ありがとうございます。毎日ワクワクして給食をまっています。これからもよろしくお願ひします。
- 毎朝早くから給食を作ってください、ありがとうございます。大変なのに、私たちが配ぜんするとき、笑顔で給食を渡してくださるので、毎日より給食がおいしく、楽しく感じます。

食べることは人が生きていくうえでは欠かせません。だからこそ、毎日食べることができること、生きることができることに感謝しなければなりません。「いただきます」「ごちそうさま」に心をこめて、ご家庭で食べる食事を、学校で食べる給食を、感謝しながらいただきたいですね。

## 大谷翔平選手からグローブが届きました

子どもたちが楽しみに待っていた大谷翔平選手のグローブが届きました。先週の校内放送で紹介すると子どもたちは大喜び。早速、さわったり、手にはめたり、キャッチボールなどをしたりしていました。グローブに込められた「子どもたちに夢を与え、勇気づける」という大谷選手の思いがとても嬉しいです。ふだんは正面玄関に飾っていますので、ぜひご覧に来られてください。（子どもたちが使用している場合がありますので、その際は職員にお声掛けください。）

